山梨新報

2020年(令和2年)
第3126号
5月1日
(毎週金曜日発行)

発行所　©山梨新報社
〒400-0864甲府市湯田二丁目9-8
(UTY会館内)
☎055-237-8121 FAX055-237-8142
振替口座00400-1-5072
年間購読料 4,800円

医療崩壊阻止に全力

新型コロナ

新型コロナウイルス感染症拡大と医療現場との間でぎりぎりの攻防が続いている。県内医療従事者などからは、マスク・防護服などの医療物資の不足▽院内感染▽感染症対応のための一般医療の抑制―などで起きうる「医療崩壊」を危惧する声が相次ぐ。そのためには、医療物資の供給はもとより、感染の有無を調べる「PCR検査」の早急な拡大が必須だ。軽症者のホテルなどへの隔離を進め「市中感染」の抑制を図りつつ、入院が必要な中等・重症者に限られた医療資源を集中させる戦略だ。先月28日の臨時県議会では246億円の4月補正予算が成立、県もさまざまな対策を打ち出しているが暗中模索は続く。

山梨大付属病院で行われたドライブスルー方式によるPCR検査シミュレーション(4月28日)

山梨県の4月28日現在の感染者数は53例。感染状況について、2015年まで山梨大付属病院病院長を務めた同大の島田真路学長は「国の方針でPCR検査が抑えられてきた。山梨県も(保健所などで)断られた数が相当数あるはずだ。これでは患者の実数がつかめない」とした上で続ける。「軽い風邪などの来院者を検査したら感染者が大勢、出てくるのではないか。医療崩壊になりかねない」

3月31日、山梨大病院に心肺停止状態で運ばれた8カ月の乳児。胸部CT画像にわずかな影があったためPCR検査をしたところ感染が判明した。そうとは知らず濃厚接触した医師18人、看護師20人ら47人の職員は14日間の自宅待機に。ICU(集中治療室)での大量の看護師の欠員は、全診療科に重大な支障を及ぼしたという。もし、陽性と知らずに治療を続けていたらどうなっていたか―。島田学長は「より多くの医療スタッフと患者を院内感染リスクにさらし、大幅な診療機能の低下は避けられなかった」と振り返る。

山梨大の島田真路学長

急患を含めすべての入院患者に感染リスクはある。だが、県内では入院患者さえPCR検査はほとんど行われていない。憂慮した同院は優先度が高い手術患者から検査に着手、プレハブの専用待合室を病院敷地内に開設した。「早急に全入院患者に検査を広げたい」(同)という。

平行して、かかりつけ医からの紹介患者を対象としたドライブスルー方式のPCR検査を大型連休明けの8日から始める。県医師会新型コロナウイルス感染症対策部会部会長の宮沢敏彦理事は「かかりつけ医が必要と判断した患者の検査をお願いするものでありがたい」と話す。

県健康増進課によると、県内でPCR検査ができるのは山梨大病院などの医療機関を除けば県衛生環境研究所だけで、検査能力は1日最大110件。ドライブスルーの導入で県全体のPCR検査能力は倍増する。長崎幸太郎知事は4月23日の会見で「これにより、早期発見、早期治療に結びつけ、患者の負担軽減を図り、医療崩壊を阻止する」と強調した。

重症者治療へ検査拡大急務

一般入院にも医療抑制の波

PCR検査の流れは、病院内の検査体制を確立した山梨大病院などを除けば、別項(医療相談とPCR検査)の通りだ。県はこの検査ルートの能力拡大も図る。宮沢理事は「逼迫している相談センターの業務の緩和のため、患者から相談を受けた『かかりつけ医』が、検査の是非を判断し相談センターへつなぐ」と説明。ただ、検体が増えても、「県衛生環境研究所」には余力がない。県内には民間検査機関がないため、「東京へ外注する。検査結果は翌々日に出る」(健康増進課)という。

現役の医師で衆議院議員の中島克仁氏(山梨1区)は、PCRを含む検査体制拡大の意義について、「感染はまん延期に入っている。自治体の実情に合った対策が必要」とした上で、「医療崩壊を避けるには、検査数を増やし現状分析し、軽症者をホテルで健康観察するなど、重症度に応じた地域医療体制を早期に構築する必要がある」と指摘する。

国内ではこれまで、陽性者は全員が入院だった。ことに、病床や医療スタッフが少ない本県では、医療現場の対応力を超えた〝医療崩壊〟が懸念された。島田学長は「当院も新型コロナ対応でぎりぎりの状態。一般の手術も一部中止、各病棟も2部屋閉めて、そこから看護師さんをコロナ対応に回している」と〝コロナ余波〟による窮状を明かす。

PCRなどの検査拡大で、隠れた市中感染者を早期発見し、軽症者をホテルなどに隔離できれば、医療現場の負担は大幅に減る。病院は人工呼吸器が必要な中等症、エクモ(ECMO、人工心肺)が必要な重症者の治療に集中できる。

4月補正で医療を強力支援

「医療物資のすべてが不足している。マスク、ゴーグルが足りない。防護服に至ってはまったくない」と県医師会の宮沢理事は嘆息する。医療崩壊は検査体制の拡充だけでは防げず、医療物資、感染者用の病床不足という制約への対処も必要だ。このため県は国からの臨時交付金を加えた4月臨時補正予算(約246億円)を編成。4月28日の臨時議会で成立した。

県は感染ピーク時の入院患者数を1500人と想定。補正予算を使い重症者用50床、中等症者用1100床を確保する。利用者負担ゼロの軽症者用は、ホテル・臨時医療施設などでしのぎ、北杜市須玉町のホテル若神楼で軽症者の受け入れが始まった。

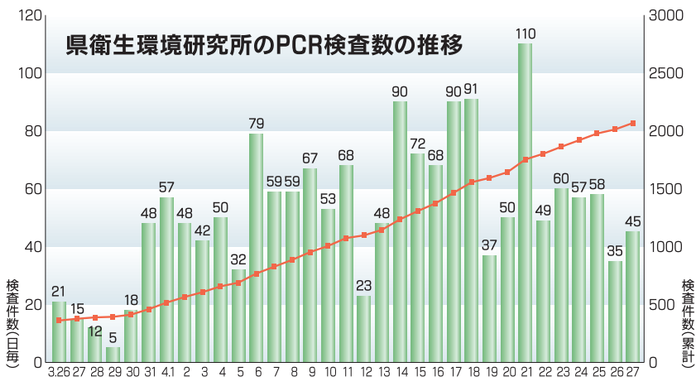
医療物資の供給では、マスクは7月上旬までに医療機関や社会福祉施設などに1000万枚を配布する。2月補正予算で計上済みの「人工呼吸器」は、県内医療機関全体で現行213台に加え50台を調達。「エクモ」は現行9台に3台を追加する。

また、補正予算には医療従事者を応援する月額1万円(5~7月)の給付金や、自宅へ帰れない人の宿泊補助(上限1泊5000円)も盛り込んだ。長崎知事は「最前線で県民の命を守るために活躍されている医療従事者の方々に対し応援金の給付と助成をしたい」と感謝とねぎらいの思いを述べた。少ない武器で未知のウイルスと闘う医療現場の支援は急務だ。

【新型コロナウイルス感染症】厚生労働省によると、粘膜などの細胞に入り込み増殖するウイルスで1~3日程度の感染力がある。発熱やのどの痛み、咳が長引き(1週間前後)、強い倦怠感(けんたいかん)を訴える人が多い。感染者の約8割は軽症で、重症化リスクは高齢者や基礎疾患者が高い。潜伏期間は1~12・5日(平均5~6日)。感染源は二つ。感染者のくしゃみ、咳などからウイルスを吸い込む「飛沫(ひまつ)感染」。もうひとつが、ウイルスが付いた手で感染者が触った物を、触ることでうつる「接触感染」だ。菓子など食品包装に触れた手で食品を口に入れる危険性を指摘する専門家もいる。

【医療相談とPCR検査】感染が疑われる場合の相談先である県内保健所(帰国者・接触者相談センター)への4月27日までの相談件数は累計1万2612件。このうち感染の有無を調べるPCR検査は2177件(総数の15・2%)だった。検査の可否はセンターが判断→帰国者・接触者外来(県内医療機関)で検体を採取→検体を県衛生環境研究所が検査し感染の有無が判明する―流れだ。県は相談の目安を当初の「37・5度以上、4日以上の発熱」から、「発熱があり、かつ、乾いた咳または味やにおいが分からないなどの異常を感じた場合」に緩め、早期発見を呼び掛けている。

【ドライブスルーPCR検査】感染の疑いがある人が、検査場所に車で訪れ、車中に居ながら窓越しに防護服などで完全防備した医師に検体を採取してもらう方式。採取時間が短く院内感染リスクもない。早くから導入した韓国では検査数が急増したという。その結果、累積感染者数(4月24日現在)は、韓国1万708人(在大韓民国日本大使館発表)、日本は1万2681人(厚生労働省発表)。同日の新規感染者は韓国6人に対し日本423人と明暗を分けた。国内では新潟市などが既に実施。厚生労働省は4月15日、都道府県などへドライブスルー検査を追認する「事務連絡」を出したが対応は大幅に遅れた。



主な感染拡大防止と医療提供体制の整備(4月補正予算)

医療施設等感染拡大防止対策	64,359
新 手作りマスクプロジェクト推進	2,770
新 遠隔診療等体制整備促進	12,934
PCR検査体制強化	8,118
(うち、新ドライブスルー PCR検査体制整備　3,518)	
新 宿泊施設を活用した軽症者等受け入れ	23,263
新 新型コロナウイルス感染症入院医療機関特別給付	103,572
新型コロナウイルス感染症患者受け入れ支援補助	63,402
新 新型コロナウイルス感染症医療従事者応援	9,300
新 新型コロナウイルス感染症医療従事者宿泊支援補助	2,790
新型コロナウイルス感染症医療提供体制強化	13,251
(うち、感染症患者入院医療機関設備整備補助　9,044)	

(※単位は万円)

新型コロナ　家でのウイルス対策

小林寅詰・東邦大教授

家庭でできる新型コロナウイルス対策について東邦大学の小林寅詰(いんてつ)教授(感染制御学)に聞いた。

―帰宅時にすることは?

玄関のそばで手をアルコール消毒するか、せっけんで洗います。次に外の手で触ったスマートフォンなどの携帯電話やタブレット、玄関内側のノブなどを消毒します。

―アルコールが手に入らない場合は?

次亜塩素酸水か家庭用漂白剤の希釈液でも構いません。ただ、いずれも手の消毒には使えません。荒れますから。

―外出時の外着はどうすれば?

せき込んでいた人の飛沫をウイルスは口、目、鼻の粘膜から体内に侵入します。口元に手がいくこともありますから、必ず食前に手洗いして下さい。

―室内のこまめな消毒は?

家族全員が多く触れそうなドアノブ、スイッチ、蛇口などはアルコールや次亜塩素酸水などで消毒します。ウイルスは金属やプラスチックでは3~5日ぐらい生存しているという報告もありますから。

―感染した家族と同居の場合は?

必ず感染者を家族と隔離します。感染者のゾーン(居室)を決められる場合は、感染者に手を消毒してから居室を出てもらいます。ドアノブ、トイレ、洗面所、風呂などの共用部は、感染者が使用した直後にその都度、消毒。食器は感染者にできれば自分で洗ってもらいます。

―室内の換気は?

部屋の大きさにもよりますが、ゾーンがあってもなくても、1時間に2~3分はできれば2方向で通風するように換気します。

―食事の際に気を付けることは?

浴びた可能性があるなど特殊なケースを除けば、消毒は不要です。衣類からの感染事例の報告は知る限りではありません。

―アルコールが手に入らない場合は?

極超短波

「目には青葉　山ほととぎす初がつお」。5月の声を聞くと江戸時代前期の俳人・山口素堂の句を思い出す◆素堂は甲州巨摩郡教来石村(北杜市)出身で、俳聖・芭蕉の客分だったと伝えられる。一説には儒学者として幕府に仕え、甲府郊外の濁川改修にも携わったとも言われる。が、異説もある◆「目には青葉」と吟じたことによって、目に染み入るような青葉に、さわやかな「五月の風」が吹き寄せてくる。「は」の一字の効用である◆もう一つ、五月の風で浮かんでくるのは、少年の日に生家の庭にはためいていた「武者幟(のぼり)」である。それには川中島合戦の武田信玄と上杉謙信の一騎討ちが色鮮やかに描かれていた◆が、少年だった筆者には不満があった。同年配の遊び仲間だった友人の家の庭に、大きな「鯉(こい)のぼり」がひるがえっていたからだ◆小学唱歌にもある「薨(ふう)の波」を勇壮に泳ぐ鯉のぼりは、少年の目には生きているように見え、今も鯉のぼりは筆者の憧れである。その鯉のぼりも武者幟も、この新型コロナウイルス猛威の世に殆(ほとん)ど見当たらない◆もしあれば、鯉のぼりの大きな口でウイルスを飲み込み、武者幟の信玄の軍配でウイルスを天空に追い払ってくれるだろうに、と児戯に類する空想にひたっている◆もっとも鯉のぼりや武者幟がなくても、5月の青葉風ときらめく太陽がウイルスを退治してくれると信じている。が「他力本願」だけでは効力は薄い。力を合わせて〝3密〟回避とマスク常用や手洗いに励もう◆そしてもう一つ、「うがい」の励行である。それが忘れられているような気がする。(S)

(2020・5・1)

全国1100店舗チェーン
アパート・マンション お部屋さがしは―
Dramatic Communication
アパマンショップ NETWORK
☎055 222-4333 甲府店
カウンターで理想のお部屋へナビします。
www.apamanshop.com/
THE FIRST STEP TO YOUR NEW LIFE
総合生活情報産業
株式会社U・エステート
〒400-0031 甲府市丸の内2丁目13-9
☎055-228-7741(代)
www.u-estate-k.co.jp
宅地建物取引業山梨県知事免許(10)第1077号

日本商工会議所・日本珠算連盟検定試験合格者

甲府商工会議所・日本珠算連盟山梨県支部発表

■第120回珠算能力検定試験

▽4級　川上聖乃、阿部奈々、雨宮光二朗(あとりゑ)、渡部夢夏、伊藤有未、青谷咲希、池本耀一(遊亀)、小林叶歩、山村英世、百瀬あん(寿)、矢竹彩乃、米山剛史(小田切)、太滝裕娜、古屋和眞(矢亀)、平塚桜(安出)、進藤煌白(萩原)、井上歌乃(市川)

▽5級　飯田明広、大塚青澄(あとりゑ)、阿南達也、小田切明希(遊亀)、稲葉美桜、丸茂由羅、黒田佳那、田邉颯真、三井暁斗、有賀由佳、土屋凜華(寿)、矢竹啓乃、河野帆花(小田切)、天野水琴(矢亀)、高柳彩恵、伊藤宏亮(安出)、中島淳吾(萩原)、数野さくら、野口琉愛(みらい)

▽6級　藤島我矩、小池亮太朗、一瀬花凛、折原希実(あとりゑ)、斎藤優、三枝千華(遊亀)、豊嶋柚希、山本彩葉(寿)、佐野唯衣、バーニング利梨杏(矢亀)、守山三千花(安出)、加藤槙之助(萩原)

▽7級　清水優希、近藤すず(あとりゑ)、今井新之助、足達理紗、三輪かのん、佐藤生吹(寿)、長田一紗(小田切)、石井絢香(矢亀)、廣島椿、松井正成(一木)、岡田蕗奈(みらい)

▽8級　清水勇斗(あとりゑ)、金丸一花、松永結菜、伊東柑奈、小田切淑貴、杉原敦生(遊亀)、足達凜太朗(寿)、鄭愛俐、笠井彩華(矢亀)、井上桜太、飯島正憲(市川)

▽9級　岩下颯汰、石原陽葵(あとりゑ)、早川翔太、飯嶋海、小林ふみ(遊亀)、難波花衣(あおば)、詫間船(寿)、南れいら、八木幸太(一木)

▽11級　増田快士、日野原俊、守屋滉太(寿)、岡田あさひ(矢亀)、田中一生(一木)、立川苺香、前田湊登(市川)

▽13級　田所和夏(あとりゑ)、立花珀人、立花希心(寿)

■第120回暗算検定試験

▽1級　岩下哩久(日進)、長田笙佑、飯島諒、伊藤稟桜(あとりゑ)、全賢祐(寿)、土谷沙綺(矢亀)、三雲琥弥太、藤原朋生(みらい)、金岡宥磨(市川)

▽2級　田渕里桜、阿部翼(遊亀)、前田拓海、豊嶋信希、横内彩乃、古屋尊、小林寛和(寿)、新井帆夏(小田切)、谷脇史恩(一木)、小池杏奈、野口莉麻夏(みらい)、笛木桃杏(市川)

▽3級　黒岩ゆり(あとりゑ)、横内秀次、前田結衣、伏見渚央、永井柚衣、中込真奈美、上條榮太、河西芽生(寿)、齋藤美緒(矢亀)、長澤真悠子、望月嶺(一木)、山野竜太郎(安出)、角田也実、角田泰一(萩原)、高荷青空、八木ひかり(市川)

▽4級　藤島我矩、古守杏美(あとりゑ)、村松風香、光藤颯汰(あおば)、渡辺希峰(寿)、菅原美乃里(小田切)、平中行輝(一木)、松本莉央、上田浩誠、佐藤快翔、佐野綾音(安出)、杉本結菜(萩原)、花澤瑠依(みらい)、芦澤未來(市川)

▽5級　井上陽真(あとりゑ)、河西麗央(寿)、下原桃希(小田切)、伊原彰燿、石川玲奈、横内茉琴(一木)、望月遥斗(市川)

▽6級　田中伶奈、青山蓮斗、近藤すず(あとりゑ)、喜多悠花(一木)、守山三千花、山本圭祐、飯島悠介、内田孟之介、高柳那月(安出)、川井菜緒、武田結衣(萩原)、望月璃心(市川)

▽7級　遠藤茉乃禾、岩下颯汰、石原陽葵(あとりゑ)、難波花衣(あおば)、小中澤舞、上野幸奈(一木)、角田乙葉、進藤世梨、杉本芽生、中島環(萩原)、立川香凜、一瀬佳暖(市川)

▽8級　深沢陽菜(あおば)

■第35回読上算検定試験

▽五段　武藤宏樹(寿)

▽四段　村松由菜(市川)

▽準二段　河野佑太(寿)

▽1級　佐野将梧(遊亀)、芦沢絢香、竹川凱、志村美月、一瀬愛衣(寿)、岡本昂樹、古屋奈香(矢亀)、笛木来瞳(市川)

▽2級　古屋陽梨(遊亀)、川崎泰毅、秋山絢香、佃美佑(寿)、土谷沙綺(矢亀)、内山友里花(市川)

▽3級　飯島諒(あとりゑ)、久保田裕菜、細川敬矢、石原蒼唯(遊亀)、萩原紗奈、齋藤里緒、米山陽彩、伊藤知穂、唐澤唯、足達璃子(寿)、望月叶王(矢亀)

▽4級　長田笙佑、飯田一華、飯田明日香、李承注、小林千将(あとりゑ)、志村美織、諸角光軌、佃志穂(寿)、野澤佳央(矢亀)、笛木桃杏(市川)

▽5級　森山翔真、保坂早耶、小池城太朗(あとりゑ)、深沢怜司(寿)

▽6級　田代惟吹、鳥谷香織、米山瑞稀(あとりゑ)

■第35回読上暗算検定試験

▽準三段　矢ヶ崎泰河(遊亀)

▽二段　村松由菜(市川)

▽準二段　河野佑太(寿)

▽2級　長田笙佑、井上桃佳、伊藤稟桜(あとりゑ)、小澤美緒(遊亀)、米山環(寿)、土谷沙綺(矢亀)、飯田拓也(市川)

▽3級　平川璃久、飯田一華、飯田明日香、李承注、小池城太朗、小林千将(あとりゑ)、古賀ひなた、山下渚月(遊亀)、伊藤知穂、萩原紗奈、齋藤里緒、宮田凌、小林右京、渡辺円桂(寿)、望月実來、金岡宥磨(市川)

▽4級　田代惟吹(あとりゑ)、志村美織、今井竜之助、中込結捺、佃志穂、三井瑛司(寿)、野澤佳央(矢亀)、一瀬一琉、秋山諒(市川)

▽5級　森山翔真、米山瑞穂(あとりゑ)、山本京楓、中込菜月美(寿)

6級　鳥谷香織、米山瑞稀(あとりゑ)